

普通の失恋をしたい

宮沢万紀子

東京都・38歳・会社員

「実を言うと、洋介を始め回りのやつら、俺が君とつきあうことに反対しているんだ」

それは、私があなたの口から最も聞きたくなかった言葉です。

「もう気持ちちが冷めちゃった。飽きちゃった。うんざり……」

何でもいい。周囲の人たちに反対されているというその一言以外なら。

「もちろん俺は反論したよ。『じゃ普通の女だったら、どんな女でもいいのかよ』って」

反論してくれたことなんて聞きたくないよ。よけい惨めになるから……。私にとってこの1年間はまるで夢の世界でした。あなたは私を本当に守ってくれた。

偶然会ってしまったあなたの御両親にも、きちんと紹介してくれましたね。洋介君や他のお友達にも大勢会わせてくれた。スーパーで夕飯の買い物をしている時なんて、きつと幸せそうな新婚さんに映っていたはず。私にとってこれ以上の幸せがあるでしょうか？

偶然、男に生まれてきちゃったけど、子供の頃からずっと心は女。好きな人に告白することも出来ず、まして手をつないで街を歩くなんて。

私、子供の頃からずっと憧れ続けていたことがあった。失恋……。そう、失恋すること。

女友だちから恋愛相談を受けて、

「つらいよね、でもきつと大丈夫」

なんて慰めながら、ふと羨ましいと感じてしまった。

相手に自分の気持ちを伝えられないから恋愛も始まらない。嫌われることもない。だから失恋することなんて絶対にない。

そういえば、つきあい始めた頃、河口湖のボートの中で、

「結婚しよう」

ってあなたは言ってくれた。嬉しかった。私が一生聞くことのない言葉だと思っていたから。

だからお願い……。せめて私に普通の失恋をさせて下さい。普通の女の子の幸せをくれたあなたに、最後のお願いです。

※彼の一言が原因で別れてしまった。どうしようもない私の性を責められているような気がして……。その後いくつかの恋愛を経て、4年前に現在の夫と一緒にいる。もちろん現在の日本の法律上、婚姻届は出せないが、お互いの親兄弟や親戚も認めてくれており、世間的には普通の夫婦として暮らしている。とても幸せである。現在、主婦業のかたわら、某放送局のアナウンサー（もちろん女子アナ）として仕事をしている。